

# 「安平町図鑑」

## 撮影・編集

## 地域おこし協力隊

福津

京子

札幌市出身。

平成9年に札幌のFM局でラジオパーソナリティとして活動を始めた福津さんは、温かみのある丁寧な語り口で多くのリスナーから親しまれ、その後は放送局長として番組づくりにも携わるなど、幅広い世代にメッセージを届けてきました。

平成24年に独立し、札幌で暮らす人々の生き方を紹介する「札幌人図鑑」を配信。

年齢や職業を問わず多くの方を取材し、これまでに2,000人のインタビューを実施。地域の魅力を掘り起こし「人を通してまちを伝える」活動を続けてきました。令和7年からは安平町に移住して、地域おこし協力隊「創業実践者」として着任。

町内でも新たに「安平町図鑑」をスタートさせ、町で暮らす人々の思いや生き方を丁寧に紹介するなど、これまで培ってきた経験を生かし、町の魅力発信や関係人口の拡大に取り組んでいます。

今回の特集では「安平町図鑑」についてインタビュー形式で紹介します。

### 「安平町図鑑」を始めたきっかけ

「札幌人図鑑」に取り組む中で、本来に多くの魅力ある人たちがいることを実感してきました。また、人を紹介すると、その縁がさらに新しい出会いを生み、活動が広がるということも。

2,000人という節目で「札幌人図鑑」を終えたとき「自分を知らない新たなまちの人たちと出会い、その魅力の発信にチャレンジしてみたい」と思い「安平町図鑑」を始めました。

### なぜ「図鑑」という形に

京都の研究者が1年間行っていた、研究者を毎日紹介する「研究者図鑑」という取り組みが、札幌人図鑑の元になっています。私自身、ラジオの仕事を通してその活動を知りました。

### 取材で大切にしていること

ラジオは本音を引き出せる素敵なメディアですが「録音を残して人に届けることができない」というもどかしさがあり、ラジオの次はアーカイブで残せる形と決め、動画配信として始めたのが「札幌人図鑑」でした。

事前の打ち合わせで共通認識を図ることはもちろんですが、その人の「過去、現在、未来」と「原体験」を聴くことを大切にしています。

現在のその人の姿は、インターネットで検索すれば分かることも多いですが、検索では出てこない物語、例えば子ども時代の話や、今の姿になるきっかけとなった「原体験」には特別な力があると思っています。

今は立派に見える方にも大変だった時期があり、その背景を知ること、見る人に元氣や勇氣を届けられるのではと。

劇的に効果がある「カンフル剤」ではなく、毎日触れることで、少しずつ前向きになれる「漢方型メディア」のような、そんなメディアとなることを目指しています。

### 今後の展望

「取材した方々の思い」「人材募集や活動の発信」「継続的な取り組み」などを町民の皆さんや町外の人にも伝えることで、双方にメリットのある安平町図鑑にしていきたいです。

今は動画の投稿数が少なくても、少しずつ積み重なれば、町内の人だけでなく、道外や海外の方からもアクセスがあるはずです。

### 町民の皆さんへメッセージ

これまで小学生から高齢者まで、さまざまな方にインタビューしてきました。その人の人生や大切にしていること、原体験や経験は、立場の違う人から見ると新鮮で、そこからアイデアをもらえることも多くあります。取材の際は「あなたが大切にしていること」「長く続けてきたこと」「そうした取り組みを支えてきた原体験」などをお聴かせてください。あなたの話が、動画を見た方に元氣を届けます。